

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インクカートリッジ (Y)
B019661-01
用途 : MYTIS-1用インク
会社名 : ノーリツプレジジョン株式会社
住所 : 和歌山県和歌山市梅原579-1
担当部門 : 品質保証課
連絡先 : 電話番号 (073-456-3969) FAX番号 (073-456-3991)
E-mail (msds@nkc.noritsu.co.jp)

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 水不溶性染料の水性分散体
成分及び含有量 : 色材、多価アルコール、界面活性剤、水
危険有害性の原因成分 : 「MSDSの危険有害性分類基準」に該当する危険有害な成分はない
官報公示整理番号 : 成分に関し化審法番号有り
CAS番号 : 成分に関しCAS番号有り
化学特性 : 特になし

3. 危険有害性の要約

危険有害性の分類 : MSDS作成における危険有害性の分類基準に該当しない
最も重要な危険有害性 : 誤飲、皮膚への付着、目に入らないように注意する。
また、河川、土壌等の環境中へ排出したりしないように注意する。
特定の危険有害性 : 加熱すると（特に100℃以上に加熱する場合）、多価アルコールが蒸気やミストが発生し目や喉に刺激を生じることがあるため、局所排気装置または全体換気装置等を稼働させ、換気の良い状態で作業を行い、蒸気やミストを吸入したりしないように注意する。

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼した後、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服や靴等の汚れを落した後、付着部又は接触部を石鹼を用いて洗浄し、よく洗い流す。必要があれば医師の手当を受ける。
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ、必要があれば人口呼吸を行い、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 可能であれば吐き出させて水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : リキッド品のため水分が蒸発してしまうまで直接の着火はないが、固形化後の燃焼については、消火剤又は多量の水を用いて消火する。
消火作業の際には必ず保護具を着用し、風上で作業をする。
消火剤 : 水、泡、二酸化炭素、粉末など

6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 : 作業者は漏出した液が皮膚に付着したり、誤飲、目に入ったりしないように保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、ゴム靴等の保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 濃厚な廃液が河川等に排出されないように適切な処理を行う。
- 除去方法 : 漏出液を密閉可能な空容器にできるかぎり回収する。
 残留液は布、乾燥砂、珪藻土などに吸着させて回収またはふき取り、そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
 回収した廃棄上の注意に従って廃棄する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い : 技術的対策及び注意事項 : 容器の破損に注意し、誤飲、皮膚への付着、目に入らないように保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、ゴム靴等の保護具を着用する。
 加熱する時は、蒸気やミストを吸収しないよう局所排気装置、全体換気装置等を備えた換気の良い場所で行い、必要があれば保護マスク、保護眼鏡を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 酸化剤、還元剤、過酸化物、強酸、強アルカリ等との接触を避ける。
- 保管 : 技術的対策 : 製品の入った容器が転倒などにより破損したりしないよう、安全な場所に保管する。開封後は封をして保管する。
- 混合接触させてはならない化学物質等 : 酸化剤、還元剤、過酸化物、強酸、強アルカリ 等
- 保管条件 : 火気、高温、多湿、水漏れ、直射日光を避け、常温にて屋内倉庫（40℃以上、0℃以下にならない場所）に保管する。
- 容器包装材料 : 製品の充電された容器にて保管する。
8. 暴露防止及び保護措置
- 管理濃度 : 設定されていない[日本産業衛生学会、ACGIH]
- 許容濃度 : 設定されていない[日本産業衛生学会、ACGIH]
- 設備装置 : 局所排気装置、全体換気装置
 （特に加熱等により蒸気やミストが発生する場合）
- 保護具 : 保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、ゴム靴 等
9. 物理的及び化学的性質
- 物理的状态 : 液体
- 密度 : 約1.07 g/cc
- 色 : 黄色
- 粘度 : 2.0~8.0mPa·s(at20℃)
- PH : 7.5~9.5
- 溶解性 : 水に任意に混和
- 可燃性 : 水分蒸発後、可燃
- 沸点 : 100℃
10. 安定性及び反応性
- 安定性・反応性 : 通常の手扱条件においては安定である。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼時には一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスが発生する。
- 避けるべき材料 : 酸化剤、還元剤、過酸化物、強酸、強アルカリ 等

11. 有害性情報
- 刺激性 : 皮膚腐食性/刺激性 : 本製品自体のデータなし
色素成分：ウサギによる試験で非刺激性
他の成分についてはデータなし
眼に対する損傷性/刺激性：本製品自体のデータなし
色素成分：ウサギによる試験で非刺激性
他の成分についてはデータなし
- 感作性 : データなし
急性毒性 : 本製品自体のデータなし
色素成分：LD50=5600mg/kg（経口、ラット）
他の成分についてはデータなし
- 慢性毒性 : データなし
変異原性 : データなし
がん原性 : データなし
成分について、IARC、NTP、EU、日本産業衛生学会共に発がん性物質として記載されていない。
12. 環境影響情報
- 分解性 : 本製品の測定データはなし。類似製品のデータから推察して「生分解性は低い又は難分解性」と考えられる。
- 生体蓄積性 : 本製品自体のデータなし
色素成分：濃縮倍率（BCF）<0.82~27（魚類：鯉、試験濃度＝0.2mg/L、6週間）
濃縮倍率（BCF）<1.4~4.9（魚類：鯉、試験濃度＝0.02mg/L、6週間）
（結果）：魚介類の体内において濃縮性がない又は低い。
他の成分についてはデータなし
- 生態毒性 : 本製品自体のデータなし
色素成分：LD50 >100mg/L（ヒメダカ、48時間）
他の成分についてはデータなし
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 水で希釈し凝集沈澱、活性汚泥処理等の適切な処理を行う。
また、焼却処理する場合は、分解によりガスが発生するので、注意しながらスクラバーを具備した焼却炉で少量ずつ燃焼させる。
内容を明確にした上で産業廃棄物処理業者に委託する。
国や都道府県及び市町村の法規・条例による廃棄の規制に従って廃棄処理を行う。産業廃棄物処理業者についてはお近くの弊社営業所、事務所にお問い合わせ下さい。
14. 輸送上の注意
- 安全対策及び条件 : 運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒・落下・損傷が起きないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- 国連分類 : 国連の定義による危険物に該当しない。

15. 適用法令

以下のいずれの法令に該当しない。

火薬類取締法、高圧ガス保安法、消防法、化審法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締り法、船舶安全法、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（P R T R法）には該当しない。

このMSDSの「取り扱い及び保管上の注意、暴露防止及び保護措置、応急処置」等の項をよく読んで取り扱いには十分注意して下さい。

16. その他の情報

注意：危険、有害性の評価につきましては、現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではありませんので、取扱いにつきましては充分注意して下さい。

文献

- 1) ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists Inc.)
米国「産業衛生専門家会議」
- 2) RTECS (Registry of Toxic Effects of Chemical Substances)
眼、皮膚刺激性、変異原生、がん原性、生殖毒性、急性毒性、ACGIHの許容濃度勧告値、NIOSH、OSHAの許容濃度値等が記載されているデータ集
- 3) 「化審法の既存化学物質安全性点検データ集」（化学品検査協会、1992年）
- 4) STNオンライン情報